

大豆の生育概況（龍ヶ崎市、最終版）

地 域 名	生育（作柄・品質）概況
茨 城 県 （龍ヶ崎市）	<p>龍ヶ崎市における 2020 年産大豆の気象、生育経過、成熟期の生育および収量、品質の平年との比較は以下のとおりである。</p> <p>1) 気象（6 月第 4 半旬～10 月第 6 半旬） <u>日平均気温</u>: 6 月は 0.4℃高く、7 月は 1.7℃低かった。一方、8 月～9 月は 1.2℃高く、10 月は 1.1℃低かった（図 1）。 <u>降 水 量</u>: 6 月～7 月は平年比 200%とかなり多く、8 月は平年比 10%とかなり少なく、9 月～10 月は平年比 67%とかなり少なかった（図 2）。 <u>日 照 時 間</u>: 6 月～7 月は平年比 43%とかなり短く、8 月は平年比 166%とかなり長く、9 月～10 月は平年比 91%と平年並であった（図 3）。</p> <p>2) 生育経過 <u>里のほほえみ</u>: 出芽期は 6 月 24 日と 1 日早く、開花期は 7 月 31 日と 1 日早かった（表 1）。播種後 39 日の地上部の生育は、7 月の低温、多雨、日照不足の影響により、主茎節数を除き、平年を下回った。一方、播種後 69、70 日以降の地上部の生育は、8 月～9 月の高温の影響により平年並となった。播種後 98 日の一株莢数、一株莢重は平年を上回り、子実肥大は良好であった（表 2）。 <u>納豆小粒</u>: 出芽期は 6 月 24 日と 1 日遅く、開花期は 7 月の低温の影響により 8 月 9 日と 2 日遅かった（表 1）。播種後 39 日の地上部の生育は、7 月の低温、多雨、日照不足の影響により平年を下回った。播種後 69、70 日以降の主茎長、主茎節数、茎の太さ、地上部生体重は平年を下回り、7 月の低温の影響が大きかったと推察されたが、分枝数と一株莢重は平年を上回ったため、8 月～9 月の高温により生育が回復したと推察された。播種後 98 日の一株莢数は平年並であったが、一株莢重は平年を上回った（表 2）。</p> <p>3) 成熟期の生育および収量、品質 両品種の成熟期は平年並～2 日遅かった。品種別の調査項目の平年値との比較は以下のとおり。 <u>里のほほえみ</u>: 成熟期は平年並であった。倒伏は少なく、青立ちはやや多く発生した。地上部の生育は、主茎長はやや短く、主茎節数はやや少なく、分枝数はやや多く、茎の太さはやや細かった。百粒重はやや軽かったが、稔実莢数はかなり多く、不稔莢数は少なかったため、子実重は 33.9kg/a と平年よりかなり重かった。外観品質は平年より優れた（表 1）。 <u>納豆小粒</u>: 成熟期は 2 日遅かった。倒伏はやや少なく、青立ちは平年並であった。地上部の生育は、主茎長は短く、主茎節数はやや少なく、分枝数はかなり多く、茎の太さはやや細かった。百粒重はやや軽かったが、稔実莢数がかなり多く、不稔莢数は平年並であったため、子実重は 32.7kg/a と平年よりかなり重かった。外観品質は平年並であった（表 1）。</p>

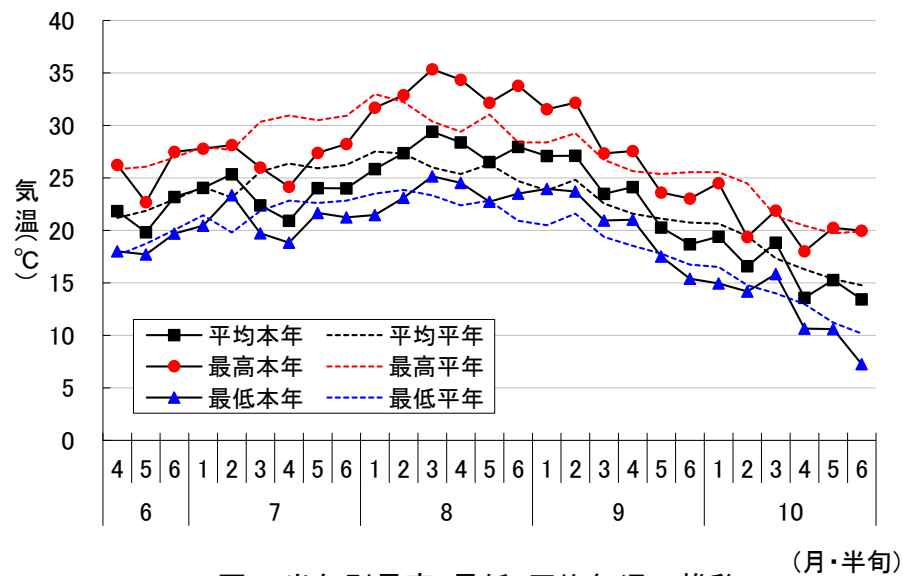


図1 半旬別最高・最低・平均気温の推移

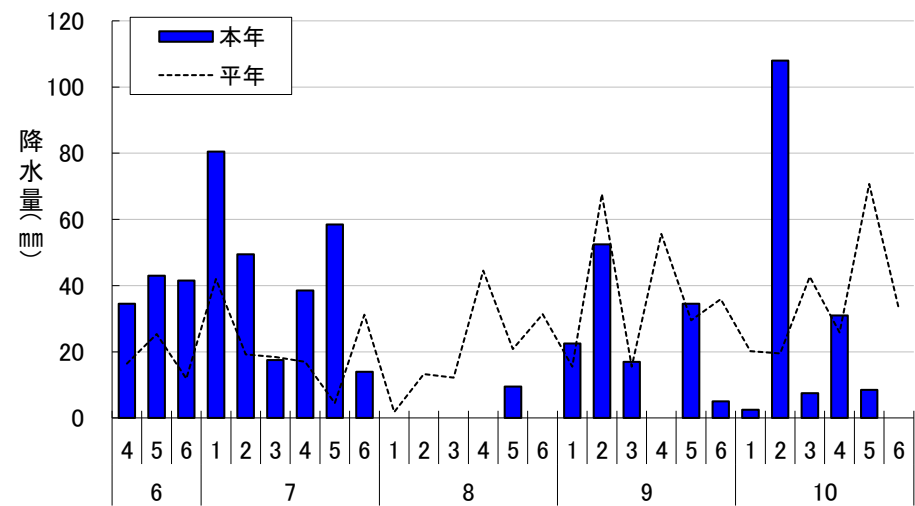


図2 半旬別降水量の推移

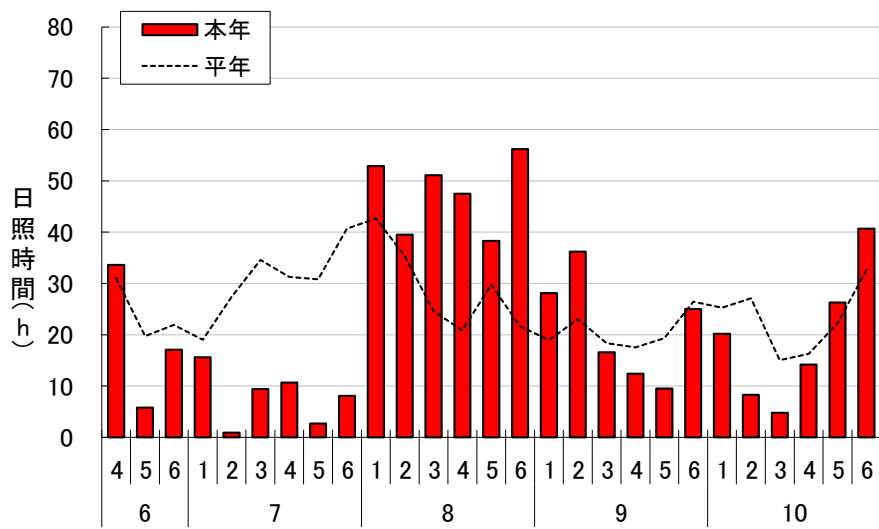


図3 半旬別日照時間の推移

(月・半旬)

表1 輪換畑における大豆の生育，収量，品質（龍ヶ崎市，水田利用研究室）

品 種	出芽期			開花期		成熟期		倒伏程度		青立程度		主茎長		主茎節数		分枝数	
	本年	平年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年比	本年	平年比	本年	平年比
	(月日)	(月日)	(日)	(月日)	(日)	(月日)	(日)	(0-5)		(0-5)		(cm)	(%)	(節)	(%)	(本/株)	(%)
里のほほえみ	6.24	6.25	-1	7.31	-1	10.23	0	0.0	-1.6	2.0	1.1	55	87	13.6	93	4.5	112
納豆小粒	6.24	6.23	1	8.09	2	10.27	2	3.0	-1.1	1.0	-0.3	59	78	15.7	92	10.4	149

品 種	茎の太さ			全重		稔実莢数		不稔莢数		子実重		百粒重		外観品質	
	本年	平年	平年比	本年	平年比	本年	平年比	本年	平年比	本年	平年比	本年	平年比	本年	平年
	(mm)	(mm)	(%)	(kg/a)	(%)	(莢/株)	(%)	(莢/株)	(%)	(kg/a)	(%)	(g/100粒)	(%)	(1-7)	
里のほほえみ	10.1	11.8	86	69.5	115	63.5	130	10.0	73	33.9	152	32.4	88	4.5	5.6
納豆小粒	8.9	10.0	89	67.9	112	199.3	130	26.7	104	32.7	149	9.6	94	5.0	5.4

- 【注釈】
- 1) 耕種概要と平年値は表1に準ずる
 - 2) 茎の太さは、子葉節と初生葉節の中間で最も太い部分を測定
 - 3) 全重は、子葉節で切断した地上部の風乾後の重さ
 - 4) 倒伏程度は、主茎傾斜角度により判定し、0（5°以下）、1（6～15°）、2（16～25°）、3（26～45°）、4（46～65°）、5（66°以上）とした
 - 5) 青立程度は、0（無）、1（微）、2（少）、3（中）、4（多）、5（甚）とした
 - 6) 子実重、百粒重は水分15%換算。子実重は「里のほほえみ」が7.3mm篩上、「納豆小粒」は4.9mm篩上かつ目視で選別した後の重さ
 - 7) 外観品質は1（上の上）、2（上の中）、3（上の下）、4（中の上）、5（中の中）、6（中の下）、7（下）とした

表2 輪換畑における大豆の生育経過（龍ヶ崎市，水田利用研究室）

品 種	調査月日 (播種後日数)	主茎長		主茎節数		分枝数		茎の太さ		地上部生体重		一株莢数		一株莢重	
		本年	平年比	本年	平年比	本年	平年比	本年	平年比	本年	平年比	本年	平年比	本年	平年比
		(cm)	(%)	(節)	(%)	(本/株)	(%)	(mm)	(%)	(g/株)	(%)	(莢/株)	(%)	(g/株)	(%)
里のほほえみ	7.27 (39)	33	86	9.6	96	0.3	21	6.4	72	30.7	51	-	-	-	-
	8.25, 26 (69, 70)	52	85	13.2	92	4.3	97	11.3	88	247.4	97	93.4	110	57.2	224
	9.24 (98)	51	81	13.5	92	4.3	100	11.1	86	270.3	93	78.6	105	136.7	138
納豆小粒	7.27 (39)	25	74	8.9	80	0.0	-	4.2	62	13.3	24	-	-	-	-
	8.25, 26 (69, 70)	61	79	15.8	93	8.6	122	9.7	89	203.5	76	148.7	99	9.7	162
	9.24 (98)	60	73	15.8	90	10.4	135	10.1	90	300.9	97	97.6	100	249.4	122

- 【耕種概要】

 - 1) 圃場来歴：転換3年目（前作麦）
 - 2) 播種：6月18日播種，11.1株/㎡（畦間60cm，株間15cm）1本立て
 - 3) 基肥：N-P₂O₅-K₂O＝0.3-1.2-1.2kg/a
 - 4) 中耕・培土：7月13日（子葉節まで実施）、7月28日（初生葉節まで実施）
- 【注釈】

 - 1) 茎の太さは子葉節と初生葉節の中間で最も太い部分を測定
 - 2) 地上部生体重は子葉節で切断した地上部の重さ
- 【平年値】

平成27年～令和元年播種の5ヵ年の平均値



写真 所内大豆の成熟期頃の生育状況（「里のほほえみ」は2020年10月26日撮影,「納豆小粒」は2020年10月27日撮影）